

例えばキーワードを 50 個詰め込むのなら「25 個」「15 個」「10 個」のイメージです。この概念は「三大要素」の項目でも書きましたが </head> 直下の書き出し文章（ヘッドライン）に Google がテキスト重要度を精査しているのと同様、テキストの出現位置と言う概念を重要視しチェックしている証拠でもあります。これらのウェブライティングの基本は常に頭に入れて心がけるようにしてください。

弊社ではこの割合をきっちり守っている訳ではありませんが、上段に 50% を意識してウェブライティングをしています。不自然なキーワード出現では閲覧者に有益な情報の提供では無く SEO 過剰対策の可能性をロボットは疑うのでご注意ください。

LESSON3 SEO対策テクニック編

第七法則 [関連キーワードについて?]



Google は日本語を完全に理解している訳ではありません。
何についての記述か？
その精度を関連キーワードの「質」と「数」で見極めていきます。

■ 関連キーワードとは何か？

関連キーワードとはキーワードに対して関連性のあるワードの事を言います。例えば「ホームページ」の関連キーワードとして「html」「SEO 対策」「Web」「インターネット」「スマホ」等があげられます。つまり「ホームページ」でウェブライティングをする場合「ホームページ」のキーワード出現率に留意するだけではなくこれらの関連キーワードをテキストの中に折り込む事でテキストの質を高める事ができます。この関連キーワードは多ければ多いほど Google は文章の「質」が高いと判断します。

では「時計」について記述した以下の文章は Google がどう判断するのでしょうか？

一口に時計といっても、その種類は幅広く、世界中の多くのコレクターが存在する高価な時計から一般向けの安価な時計まで色々なものがあります。時計は現代の生活になくてはならないほど生活に浸透しており、場合によっては二つ以上の時計を持つ人も珍しくはありません。

お分かりいただけましたか？

Google は時計について記述したこの文章を全く評価をしません。

下記の文章では 63 単語中「時計」のキーワードが 5 単語。キーワード出現率は 7.5% とかなり高いです。（実際は 6% 以上はスパムになります）では Google が、この文章を高く評価しない理由は何なのか？

実はこの文章には専門性が無く「時計」に関連する記述が無いのです。

実際「時計」を「ワイン」に置き換えてもう一度読んでみましょう。

一口に時計といっても、その種類は幅広く、世界中の多くのコレクターが存在する高価な時計から一般向けの安価な時計まで色々なものがあります。時計は現代の生活になくてはならないほど生活に浸透しており、場合によっては二つ以上の時計を持つ人も珍しくはありません。

専門性の無い文章では Google 何についての記述なのかを判別する事ができません。

Google は日本語を深く理解しているのではなく「時計」と言うワードに対する関連ワードのデータベースを保有しており「上級関連キーワード」「中級関連キーワード」「低級関連性キーワード」毎に登場した関連キーワードにポイントを与えテキストを数値化しています。

では、どのような文章を Google が好んでいるのでしょうか？

一口に時計といっても、その種類は「機械式」「自動巻き」「クォーツ」と構造的なものだけでなく、「腕時計」「置時計」「壁掛け時計」など用途によっても多くの種類が存在する。時計は、世界中の多くのコレクターが存在する高価なものがある。例えば、マリーアントワネット時計を設置した時計の祖と呼ばれるブレゲや、ベゼルや竜頭に宝石を散りばめた時計、また複雑な構造を得意とするパテック・フィリップなど海外の有名時計メーカーを挙げだしたらきりが無い。また、一般向けの安価な時計で言えば、クォーツ製のセイコーやカシオなど日本勢が多く目立つ。有史以来、時計ほど実用面と芸術面を併せ持った道具は存在しないかもしれません。

と言う記述なら高く評価するでしょう。

このように文章に優劣をつける方法として関連キーワードが用いられています。全てのテキストにポイントが与えられ獲得ポイントが高いテキストこそが「質」の高いテキストとして Google は認識します。

ではどのように「質」の高いテキストを作ればいいのか？そのテクニックを紹介しましょう。

最も有効的で簡単な方法は「ウィキペディア (Wikipedia)」で貴方が記述するキーワードを調べて満つ事でしょう。ウィキペディアに登場する単語はどれも重要です。できるだけ文章構成する時の参考にしましょう。特に「関連項目」のワードは見逃せません。

Google ロボットが保有している「キーワードデータベース」ですがこれはディレクトリで作られたものなのか？それともロボットが作り上げたものなのかは定かではありませんが、ロボットが作り上げたものと仮定すれば検索エンジンに登録された「キーワード」をロボットが生成する上位から順番に記述された単語をストックされるはずで。そして同様の記述が多いモノ（ある一定のストック量を超えたモノ）を関連キーワードとして「上級」「中級」「低級」キーワードとしてデータベースされる仕組みだと推測されます。ただしキーワードの重要度は何段階に分けられているのかは定かではありません。

もし、ディレクトリで人間がデータベースをしてもきっと同様の方法です。いずれにしても検索エンジン上位に表示される「ウィキペディア (Wikipedia)」はかなり高い確率で関連キーワードになっていると推測します。また「〇〇とは？」で検索して上位に表示される文書も「関連キーワード」を探す上で重要になるでしょう。

また、Google 検索の一番下に出て来る「関連する検索キーワード」は Google が紐付けしているワードなのでテキスト内に使用すれば評価が上がります。以上の事に留意してウェブライティングを行えば貴方のサイトのテキストは Google から高く評価されるでしょう。テキストの「質」と「量」はウェブライティングの最も重要なファクターです。早速実践してみましょう。

ホームページ

評価

A html

A World Wide Web

A ウェブサイト

A ポータルサイト

A Netvibes

A ブックマーク

A en:Homepage

A CMS

B ブラウザ

B ビルダー

B ドリームウィーバー

B スマホサイト

B 更新型

B java

C フラッシュ

C cgi

C ウェブコンテンツ

関連キーワード

FXに関連する検索キーワード

[fx ブログ](#) [fx プライム](#)
[fx 初心者](#) [fx チャート](#)
[fx wiki](#) [fx 比較](#)
[fx パーチャル](#) [fx スワップ](#)
[fx 税金](#) [fx レバレッジ](#)

